

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組
 教科担当者： (A組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (大修館書店『新編 言語文化』)

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	I 単元名：ことばと出会う 【知識及び技能】 (2) ア 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) オ 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。(以下、同)	○指導事項 ・言葉についての筆者の考えを読み取らせ、言葉が果たしている役割を理解させる。 ○学習材 「ことばの森を育てよう」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。(2)ア) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。(B(1)オ) 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	○	○	○	10
	II 単元名：漢文を読む 【知識及び技能】 (2) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) ア 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・「蛇足」という言葉の意味について、考えられるよう指導する。 ○学習材 「蛇足」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。(B(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○		○	○	○	1
	III 単元名：物語に親しむ 【知識及び技能】 (1) エ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) ウ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の人間関係や心理を考えるよう指導する。 ○学習材 「みずかまきり」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		○	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)エ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
IV 単元名：本を紹介する 【知識及び技能】 (2) カ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) エ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の描写から人物像を捉えるよう指導する。 ○学習材 「とんかつ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		○	【知識・技能】 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。(2)カ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(B(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	11	
定期考査			○		○	○	○	1	
V 単元名：平和を考える 【知識及び技能】 (1) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 A (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・文章を踏まえた自分の思いや考えを書けるよう指導する。 ○学習材 「光のうつしえ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 時代背景や歴史的事実に興味を持ち、筆者の考えを踏まえ、自分の思いや考えを書こうとしている。	○	○	○	10	

2 学期	<p>VI 単元名：物語を要約する 【知識及び技能】 (1)イ 【思考力、判断力、表現力等】 A (1)ア 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)</p>	<p>○指導事項 ・表現の仕方に着目しながら、要約できるよう指導する。 ○学習材 「祖母が笑うということ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成</p>	○	○	<p>【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味を持ち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わいながら、要約文を書こうとしている。</p>	○	○	○	11	
	定期考査			○		○	○	○	1	
	<p>VII 単元名：古文に親しむ 【知識及び技能】 (2)イ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1)ウ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)</p>	<p>○指導事項 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて指導する。 ○学習材 「古文の言葉と仮名遣い」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成</p>			○	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。(2)イ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○		○	○	○	1	
3 学期	<p>VIII 単元名：古文を楽しむ 【知識及び技能】 (2)ウ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1)イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)</p>	<p>○指導事項 ・事件の展開と、登場人物の行動について指導する。 ○学習材 「阿蘇の史、盗人に会ひてのがるること」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成</p>	○		○	<p>【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○		○	○	○	1	
	<p>IX 単元名：伝統文化に親しむ 【知識及び技能】 (1)オ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1)イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)</p>	<p>○指導事項 ・それぞれの作品に描かれている情景や心情について指導する。 ・受け継がれてきた伝統的な遊びについて体感する。 ○学習材 「詩歌の調べ」 「いろはカルタの世界」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成</p>			○	<p>【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法について理解している。(1)オ) 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○		○	○	○	1		

合計
105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数		
		話・聞	書 読							
1 学期	1 ことばをひらく ・ことばの準備体操 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の量を増やし、話や文章の中で使う。 ・常用漢字の読みを慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・語句の量を増やすとともに、語句や語彙を理解し語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えやことがら的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫する。	・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて学ぶ。 ・文や文章の適切かつ効果的な接続のしかたを学ぶ。	○		【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の考えやことがら的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的に学習に取り組み、教科書以外の例文を考えたり、今後の学習に生かしたりしようとしている。					10
	1 ことばをひらく ・ことばの準備体操 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を踏まえ、表現や言葉遣いを理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、話の構成や展開を工夫して話す。	・発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 ・読みやすくわかりやすい字で正確に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。		○	【知識・技能】 ・言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組んでいる。【(1)ア】 ・話し言葉と書き言葉の特徴を意識し、はっきりした発音、適切な聞く姿勢、読み手にとってわかりやすい字形、音読の工夫に注意しながら活動に取り組んでいる。【(1)イ、ウ、エ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。					10
	定期考査								1	
	3 わかりやすく説明する ・説明のしかたをとなえよう 評論文を読む 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みを慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・語句の量を増やすとともに、語句や語彙を理解し語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 対話を通して、自他が持つ固有の価値を尊重する。	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		○	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとなえようとしている。 【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。【(1)オ】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。【(2)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとなえようとしている。					10
3 わかりやすく説明する ・絵や写真を説明しよう 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会で適切な題材を決め、情報を吟味して伝えたいことを明確にする。 ・読み手の理解を得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合う。	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身につける。 ・目的や読者に応じて、わかりやすい説明になるように情報を整理する。 ・目的や読者に応じて、説明のしかたを工夫して書く。		○	【知識・技能】 ・正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修辞を用いたりしている。【(1)イ、エ、カ】 ・わかりやすく説明するために効果的な文の組み立てを理解している。【(1)オ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手にわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開、表現のしかたを工夫している。【(1)Bイ、ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正確にわかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、読み手の理解が得られるよう、表現のしかたを工夫している。【(1)ア、ウ、(2)イ】					10	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～ 組
 教科担当者：（A組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（大修館書店『国語表現 改訂版』）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 - 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元：言葉と出会う 【知識及び技能】 表記の決まりを意識し、正しく読む。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字や慣用表現を正しく使う。 【学びに向かう力、人間性等】 多くの見出しを比べ、自らの興味のある題材を選ぶ。	・学習を通して、文を書くための基礎基本を身につけることを意識させる。 ・表記、漢字、慣用表現など、正しい言葉の用い方に必要な知識を身につけさせる。 ・選んだ見出しや記事を分析する。 ・自分の考えを多彩に表現して書く。				○	【知識・技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。 【思考・判断・表現】 自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1	
	単元：報道記事の分析 【知識及び技能】 係り受けについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文末表現の統一について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 発想を広げるための方法を理解する。	・自分も読み手も興味をもてるニュースの題材を見つける。 ・5W1Hの情報を確認し、内容を明確化する。 ・ニュース記事を400字程度の文章に書く。 ・原稿を実際に読み、相互に良かった点、改善点を出し合う。				○	【知識・技能】 「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 与えられたテーマから発想を広げて書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査							○	○		1	
	単元：通信文 【知識及び技能】 さまざまな通信文の形式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・学習の流れや目標について理解する。 ・学習内容や手順を理解する。 ・設定されたある場面において、どのような方法で通信文を書くのがよいのかについて考える。 ・通信文ごとの特徴について学習する。 ・さまざまな通信文の書き方について学習する。 ・ワークシートを参考に構成を作り、それにしたがって通信文を書く。 ・生徒同士で通信文を交換し、添削を行う。 ・通信文の書き直しを行う。				○	【知識・技能】 書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1	

2 学 期	<p>単元：会話と議論</p> <p>【知識及び技能】 場面にふさわしい言葉遣いを考える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な言葉遣いでロールプレイをする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手や場面に応じた会話することに興味をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや目標について理解する。 ・学習内容や手順を理解する。 ・場面や相手に応じた適切な言葉遣いを意識する。 ・場面を設定し、班ごとにロールプレイをする。 ・敬語の基本的な知識について確認し、まとめる。 ・議論をする際に、日ごろ意識していることや気をつけていることなどを考える。その上で、議論をする際に必要なことについて理解する。 ・テーマを設定し、議論を行う。 ・議論についてグループで振り返りを行う。 ・議論の進め方はどうであったか。 ・場に応じた言葉遣いが出来ていたか。 ・個人で議論を振り返る。 	○		<p>【知識・技能】 話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 相手や場面に応じた会話することに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査					○	○		1
3 学 期	<p>単元：写真と言葉</p> <p>【知識及び技能】 図や写真を見て文章を書き、相手に伝える文章を書くために必要なことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや目標について理解させる。 ・教科書を参照し、全体の枚数・トランプの種類・机の上での位置・ほかのカードとの位置関係・向きについて情報を整理する。 ・教科書を参照し、次の視点から情報を整理する。 ※全体の印象を比喻で表現する。 ※各部分を図形の名称を用いて説明する。 ※各部分の位置関係、接し方を説明する。 ・自分の好きな写真を素材にして、どのような写真か、どのような印象を受けるかについて、写真を見ていない人に伝える文章を200字程度でまとめる。 	○		<p>【知識・技能】 説明の順序や5W1H、比喻を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。</p>				13
	定期考査					○	○		1
									合計
									70

2 学 期	<p>単元：会話・議論・発表</p> <p>【知識及び技能】 場面にふさわしい言葉遣いを考える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な言葉遣いでロールプレイをする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手や場面に応じた会話することに興味をもち、意欲的に活動に取り組んでいる。</p>	<p>・場面にふさわしい言葉遣いを考える。</p> <p>・適切な言葉遣いでロールプレイをする。</p> <p>・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設な議論になるように協力し合う。</p> <p>・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。</p>	○			<p>【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手や場面に応じた会話することに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
3 学 期	<p>単元：表現を楽しむ</p> <p>【知識及び技能】 図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組む。</p>	<p>・さまざまな言葉遊びをとおして、言葉に興味をもち、語彙を広げて、言語感覚を豊かにする。</p> <p>・課題を解決するために、建設的に話し合う。</p> <p>・積極的に話し合いに参加し、他者の意見を尊重しつつ自分の意見を適切に述べる。</p>	○			<p>【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、言葉遊びの中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・回文や折句、しりとりや語呂合わせなどの表現の技法について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて適切な題材を決め、語句や表現の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな言葉遊びに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。</p>				20
	定期考査						○	○		1
合計										
105										

高等学校 令和8年度（2学年） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（ ）

使用教科書：（『わたしたちの地理総合』（二宮書店） 『コンパクト地理総合地図』（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>地図でとらえる現代世界</p> <p>【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど 教材 教科書・地図帳 一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。 	<p>【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>結び付きを深める現代世界</p> <p>【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など 教材 教科書・地図帳・資料集 一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用 	<p>【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
	中間考査						
	<p>世界の地形と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など 教材 教科書・地図帳・資料集 一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用 	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	9

	<p>世界の気候と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化（衣食住）の関係性、モンスーンなど</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	9
	期末考査						1
2 学 期	<p>世界の言語・宗教、歴史と結びついた人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・文化、言語、民族、宗教、資源、経済発展、産業など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	中間考査						1
	<p>世界の産業と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域の産業の発展とそれによって生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・農業、工業（アメリカ、中国、韓国、ヨーロッパ）など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域の産業の発展とそれによって生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	期末考査						1
3 学 期	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・地球的課題（環境問題、エネルギー問題、人口問題、経済格差、食料問題、都市・村落問題）など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	12

<p>持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と自然災害、防災など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用 	<p>【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
						合計
						70

豊島高等学校定時制 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：A組：

使用教科書：（ 「私たちの 歴史総合」（35・清水・経歴705） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史に関わる事象の意味や特色、相互の関連を、概念等を活用して考察したり、考察、構想したことを説明できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 日本と世界の歴史をもとに、スポーツや「終戦」の観点から、資料をもとに叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料から読み取った情報の意味や意義・特色等を考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各テーマについて、主体的に追及する。</p>	<p>・指導項目 1 歴史と私たち 日本とスポーツの歴史 2 歴史の特質と資料 8月15日とそれぞれの「終戦」</p>	<p>【知識・技能】 日本と世界の歴史をもとに、スポーツや「終戦」の観点から、資料をもとに叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料から読み取った情報の意味や意義・特色等を考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各テーマについて、主体的に追及している。</p>	○	○	○	4
<p>【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 近世の日本と世界 2 18世紀の中国とアジア貿易 3 18世紀のイギリスとアジア、アフリカ</p>	<p>【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 産業革命による経済発展と社会の変化 2 世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 3 日本の開国とその影響</p>	<p>【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
1 学期 定期考査			○	○		1

<p>【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 二つの市民革命と近代民主主義社会の設立 2 国民統合とナショナリズム 3 明治維新期の日本と世界 4 近代国家への移行と憲法の制定</p>	<p>【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導内容 1 列強による帝国主義 2 帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたもの 3 日清戦争とその影響 4 日露戦争</p>	<p>【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>【知識・技能】 社会インフラ建設をめぐる平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本と清の鉄道建設の比較、鉄道建設に対する清朝政府や中国民衆の反応、現代のアジア諸国のインフラ建設の光と影に着目して、鉄道建設と近代化について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究する。</p>	近代化と現代的な諸課題 鉄道建設	<p>【知識・技能】 社会インフラ建設をめぐる平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本と清の鉄道建設の比較、鉄道建設に対する清朝政府や中国民衆の反応、現代のアジア諸国のインフラ建設の光と影に着目して、鉄道建設と近代化について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦や社会主義革命が大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍縮条約・不戦条約など国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際連盟やその後の国際連合などの国際組織、国際的な軍縮条約や不戦条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 第一次世界大戦 2 社会主義革命 3 国際協調体制 4 アジアの民族運動</p>	<p>【知識・技能】 総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦や社会主義革命が大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍縮条約・不戦条約など国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際連盟やその後の国際連合などの国際組織、国際的な軍縮条約や不戦条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13

<p>【知識・技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 議会政治に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大量消費社会の功罪、教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 大衆の政治参加 2 女性の社会参加 3 大衆社会の形成</p>	<p>【知識・技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 議会政治に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大量消費社会の功罪、教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺と崩壊、国際秩序の変容につながった当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p> <p>また情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 世界恐慌 2 ファシズムの台頭 3 日本の大陸進出 4 第二次世界大戦</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺と崩壊、国際秩序の変容につながった当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p> <p>また情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>【知識・技能】アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復など、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解し、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】アジア太平洋戦争の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響、福祉面での国家の積極的な介入の方向性などの連続性などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較、相互に関連付けたりするなど、第二次世界大戦の性格と惨禍、社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響と平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、国際社会の一員として、過去の日本とアジア諸国との関係を認識し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導項目 1 アジア太平洋戦争 2 戦争が変えた人々の暮らし 3 戦後世界の新たな枠組み 4 敗戦後の日本とアジア 5 冷戦下の東アジア</p>	<p>【知識・技能】 アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 アジア太平洋戦争の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響、福祉面での国家の積極的な介入の方向性などの連続性などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響と平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、国際社会の一員として、過去の日本とアジア諸国との関係を認識し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>また国民生活に対する国家の関わりについて主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8

	<p>追究しようとしている。また国民生活に対する国家の関わりについて主体的に追究する。</p>						
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。 【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導項目 1 脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 2 冷戦下の地域紛争 3 先進国の政治と社会運動 4 核兵器の脅威と核軍縮</p>	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
3学期	<p>【知識・技能】 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。 【思考・判断・表現】 民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 石油危機と価値観の転換 2 アジアの成長 3 冷戦の終結 4 冷戦終結後の紛争と平和への取り組み</p>	<p>【知識・技能】 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考・判断・表現】 民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

合計

105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（ ）

使用教科書：（『高等学校 公共』（帝国書院））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【なぜ「公共」を学ぶのか】 【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現する。	・指導項目 オリエンテーション（1年間の授業の進め方について、公共を学ぶ理由についてなど） ・使用教材 教科書、授業プリント 一人1台端末 使用方法やルールについて確認	【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現している。		○		1
【社会の中の私たち】 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導項目 1 現代の社会 2 青年期の課題 3 ジェンダーについて 4 学ぶことの意義 5 社会参画とキャリア 6 宗教について考える 7 日本の思想と伝統文化 ・使用教材 教科書、授業プリント ・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用	【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

1 学期	<p>【思想から学ぶべきもの】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 古代ギリシアの思想 2 古代中国の思想 3 近代西洋の思想 4 現代の思想 <p>・使用教材</p> <p>教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末</p> <p>諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>【私たちの社会の基本原則】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 近代立憲主義の原理とその広がり 2 日本国憲法 3 平等に生きる権利 4 自由に生きる権利 5 人間らしく生きる権利 6 広がる人権の考え方 7 人権保障の国際的広がり <p>・使用教材</p> <p>教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末</p> <p>諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	9
定期考査				○	○		1
	<p>【私たちと法】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題 <p>・使用教材</p> <p>教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末</p> <p>諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	6

2
学
期

<p>〔私たちと政治-民主社会と政治参加-〕 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 選挙制度とその課題</p> <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>6</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>
<p>〔私たちと政治-国際政治の動向と平和の追求-〕 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目 1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 平和主義と日本の防衛政策 4 日本の安全保障 5 国際連合の役割 6 紛争とテロリズム 7 核兵器と軍縮の課題 8 国際協力と日本の役割</p> <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者： ()

使用教科書： (『最新 政治・経済』(実教出版))

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【なぜ「政治・経済」を学ぶのか】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導項目 オリエンテーション（1年間の授業の進め方について、政治・経済を学ぶ理由についてなど） 使用教材 教科書、授業プリント 一人1台端末 使用方法やルールについて確認 	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現している。 		○		1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導項目 1 現代国家と民主政治 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の政治制度と政治参加 使用教材 教科書、授業プリント 一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 	○	○	○	12
1学期 定期考査			○	○		1

	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代の経済社会 2 現代の日本経済と福祉の向上 <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動，財政の働きと仕組み及び租税などの意義，金融の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界，持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民主権を担う公民として，現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち，課題にかかわる知識を主体的に深めたり，課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら，現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の課題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能にする社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本経済のあゆみとこれから <p>・使用教材 教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，政治および経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 高校数学 I （実教出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	【知技】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 【思判表】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	15
定期考査						1
・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	2節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	【知技】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 【思判表】 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。 	3節 方程式と不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用	【知技】 ・不等式の解の意味や不等式の性質が理解できる。 ・1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思判表】 ・不等号の性質を、数直線を用いて考察できる。 ・日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主】 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かる。 ・1次方程式の解き方と関連づけて1次不等式を考えようとしている。 ・具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						1
	<ul style="list-style-type: none"> 集合に関する基本的な概念を理解する。 命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。 	4章 集合と論証 1節 集合と論証 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	【知技】 ・集合に関する基本的な概念を理解できる。 ・2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。 ・命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。 ・命題の逆や対偶をつくることができる。 【思判表】 ・集合と命題の関係を考察できる。 ・対偶などを利用して、簡単な命題を証明することができる。 【主】 ・具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。 ・いろいろな文やことがらについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。 ・身の回りの話題から、命題を考察して、必要条件、十分条件、必要十分条件を考えようとしている。 ・いろいろな命題について、ねばり強く証明しようとしたり、証明の過程をふり返って考えようとしたりしている。	○	○	○	22
定期考査						1	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握したりできるようにする。 	5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	【知技】 ・与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。 ・代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や用い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。 ・具体的な事象を通して、仮説検定の考え方を理解できる。 【思判表】 ・統計グラフから、どのようなことがわかるか考察できる。 ・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、身の回りの事象を批判的に考察できる。 【主】 ・身の回りのいろいろな統計グラフから、データの特徴を考えようとしている。 ・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。 ・身の回りの現象で、正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、調べようとしている。	○	○	○	26
	定期考査						1
							合計
※3 1単位35時間になるように作成してください→							105

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者： ()

使用教科書： (高校数学 I (実教出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・関数の概念について理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	【知技】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形（平方完成）することができる。 【思判表】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形（平方完成）したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、平行移動の考えを用いるなどして多面的に考察できる。 ・コンピュータなどを使って、いろいろな2次関数のグラフをかき、その特徴を調べることができる。 【主】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを調べようとしている。 ・2次関数のグラフについて、中学校で学んだ1次関数のグラフをふり返って考えようとしている。	○	○	○	15
定期考査						1
・2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	【知技】 ・2次関数の最大値・最小値が理解できる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 【思判表】 ・定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・日常の事象について、2次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 【主】 ・具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。 ・1次関数のグラフと1次方程式との関係をふり返って2次関数のグラフと2次方程式との関係を考えようとしている。 ・ $D=b^2-4ac$ の符号を用いて、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の関係をふり返ってまとめようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1

2 学 期	<p>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。</p>	<p>3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係</p>	<p>【知技】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 【思判表】 ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用して残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 【主】 ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査						1
	<p>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用したりできるようにする。</p>	<p>2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用</p>	<p>【知技】 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鈍角の三角比を理解できる。 ・面積の公式を用いて三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思判表】 ・座標や鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・余弦定理と三平方の定理との関係を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 【主】 ・三角形の面積$=1/2 \times$底辺\times高さ をふり返りながら、面積の公式を考えようとしている。 ・いろいろな図形について、正弦定理や余弦定理を用いて考えようとしている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい身の回りの距離などを求めようとしている。</p>	○	○	○	22
定期考査						1	
3 学 期	<p>・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。</p>	<p>課題学習 1. 黄金比と$\sqrt{\quad}$の計算 2. 売り上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選？ 5. カード集めの問題</p>	<p>【知技】 ・各章で学んだ知識・理解を元に、計算などを適切に処理できる。 ・課題で取り組むことがらを理解できる。 【思判表】 ・各章で学んだ内容を活用し、課題を考察できる。 ・課題について自分の考えを表現したり、他者の考えを聞いて判断したりできる。 【主】 ・自ら課題に取り組む、各章で学んだことをふり返りながら考えようとしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査						1

※3 1単位35時間になるように作成してください→

合計

105

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 高校数学A （実教出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解する	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合と要素 2. 集合の要素の個数	【知技】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。 【思判表】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。 【主】 ・集合の考え方を利用することに興味を持っている。	○	○	○	10
	定期考査						1
	・具体的な事象の考察を通して順列の意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 3. 場合の数 4. 順列	【知技】 ・順列の考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 【思判表】 ・順列の考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 【主】 ・順列の考え方を利用することに興味を持っている。 ・順列の考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。	○	○	○	13
定期考査						1	

	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の考察を通して組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。 	<p>1章 場合の数と確率</p> <p>1節 場合の数</p> <p>5. 組合せ</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合せの考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合せの考え方を利用することに関心を持っている。 組合せの考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。 	○	○	○	11
	定期考査						1
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いているいろいろな事象の確率を求められるようにする。 	<p>2節 確率</p> <p>1. 事象と確率</p> <p>2. いろいろな事象の確率</p> <p>3. 独立な試行とその確率</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率の基本的な法則を理解できる。 組合せを利用して、確率を求めることができる。 排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 独立な試行や反復試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。 	○	○	○	13
	定期考査						1
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いているいろいろな事象の確率を求められるようにする。 	<p>2節 確率</p> <p>4. 反復試行とその確率</p> <p>5. 条件つき確率</p> <p>6. 期待値</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件つき確率の意味を理解し確率を求めることができる。 期待値の意味を理解し、求めることができる。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件つき確率を利用し具体的な事象の確率を考察できる。 期待値を意思決定に活用できる。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験を通して頻度の割合を求めたりすることで、確率の意味を理解しようとしている。 	○	○	○	18
	定期考査						1

※3 1単位35時間になるように作成してください→

合計
70

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 4 学年
 教科担当者： ()
 使用教科書： (高校数学A (実教出版))

教科 数学 の目標：
【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数の歴史について理解を深められるようにする。	3章 数学と人間の活動 1節 数と人間 1. 数の歴史	【知技】 ・数の歴史を理解し、古代の記数法を使って数を表すことができる。 【思判表】 ・古代の記数法について考察できる。 ・0のはたす役割の重要性を考察できる。 【主】 ・数の歴史について理解を深めようとしている。 ・古代の計算道具について調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
	2進法の仕組みを理解し、基数変換ができるようにする。	3章 数学と人間の活動 1節 数と人間 2. 2進法とコンピュータ	【知技】 ・10進法と2進法の仕組みについて理解し、2進法で表された数を10進法で表したり、10進法で表された数を2進法で表したりすることができる。 ・2進法で表された数どうしの和を求めることができる。 【思判表】 ・10進法と2進法の仕組みを考察できる。 【主】 ・数を表す装置で、いろいろな数を表そうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						1

2 学 期	ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて最大公約数を求められるようにする。	3章 数学と人間の活動 1節 数と人間 3. 整数の性質とユークリッドの互除法	【知技】 ・約数や倍数、公約数について理解し、求めることができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 【思判表】 ・長方形をしきつめる最大の正方形の1辺の長さと、最大公約数の関係を考察できる。 ・大きな整数の最大公約数を求めるときに、ユークリッドの互除法を用いると便利であることを考察できる。 【主】 ・いろいろな数の約数や倍数、公約数を求めようとしている。 ・いろいろな大きな整数の最大公約数を、ユークリッドの互除法を用いて求めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						1
	図形と人間の関りについて理解を深められるようにする。	2節 図形と人間 1. 図形と人間 2. 相似と測定	【知技】 ・古代の測量について理解し、面積を求めることができる。 【思判表】 ・図形と人間の関りについて考察できる。 【主】 ・図形と人間の関りについて理解を深めようとしている。	○	○	○	13
定期考査							1
3 学 期	座標を考える意義を理解し、平面や空間に点を図示できるようにする。	2節 図形と人間 3. 座標の考え方	【知技】 ・座標の考え方を理解し、平面や空間に点を図示することができる。 【思判表】 ・座標を考える意義がわかる。 【主】 ・身の回りで座標の考え方が利用されているものを見つけようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						1

※3 1単位35時間になるように作成してください→

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～

使用教科書：（東京書籍 改訂 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、身の周りの科学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	科学現象に主体的に関わり、探究しようとする態度と、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元「光の性質とその利用」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解する。</p> <p>○電磁波の基本的な性質と危険性について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉える。</p> <p>○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出す。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○光が波の性質を持つことと光の法則性と日常生活を関連付ける。</p> <p>○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法に関心を持ち実施する。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 光の進み方と見え方</p> <p>2 光の波としての性質</p> <p>3 さまざまなスペクトル</p> <p>4 光の三原色と色</p> <p>5 電磁波の利用</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解している。</p> <p>○電磁波の基本的な性質と危険性について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉えることができる。</p> <p>○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○光が波の性質を持つことや光の法則性と日常生活を関連付けている。</p> <p>○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法について関心を持ち、実施しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「熱の性質」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解する。</p> <p>○熱容量、比熱、熱量の保存について理解する。</p> <p>○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解する。</p> <p>○化学エネルギー電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○熱平衡について理解し熱量保存の法則を定量的に考えられる。</p> <p>○身の周りで熱の伝わりがどう利用されているか見出せる。</p> <p>○仕事は熱エネルギーに変換されることを定量的に表現する。</p> <p>○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>○熱の移動について日常生活と関連付ける。</p> <p>○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つ。</p> <p>○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出す。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 原子や分子の熱運動</p> <p>2 熱容量と比熱</p> <p>3 熱の伝わり方</p> <p>4 力学的エネルギーと熱エネルギー</p> <p>5 エネルギーの変換</p> <p>6 エネルギーの有効利用</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解している。</p> <p>○熱容量、比熱、熱量の保存について理解している。</p> <p>○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解している。</p> <p>○化学エネルギーや電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○熱平衡について理解し、熱量保存の法則を定量的に考えることができる。</p> <p>○身の周りで熱の伝わりがどのように利用されているか見出すことができる。</p> <p>○仕事は熱エネルギーに変換されることを定量的に表現している。</p> <p>○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○熱の移動について日常と関連付けている。</p> <p>○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つようとしている。</p> <p>○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	13

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～

使用教科書：（東京書籍 改訂 新編 生物基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現し、科学的に探究する力を身に付ける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「生物の多様性と共通性」 【知識・技能】 ○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解する。 ○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解する。 【思考・判断・表現】 ○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだし考察する。 ○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○生物の多様性と共通性について学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。	○指導事項 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 細胞の特徴 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。 ○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。 【思考・判断・表現】 ○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。 ○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。	○	○	○	6
単元「生物とエネルギー」 【知識・技能】 ○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解する。 ○酵素の基本的特徴を理解する。 ○呼吸と呼吸の概要について理解する。 【思考・判断・表現】 ○生のバイナッブルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見つけ表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○代謝について学習した用語のつながりを整理し、振り返る。	○指導事項 1 生体とATP 2 酵素のはたらき 3 呼吸と光合成 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。 ○酵素の基本的な特徴を理解している。 ○呼吸と呼吸の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 ○生のバイナッブルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
1 学期 単元「遺伝情報とDNA」 【知識・技能】 ○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解する。 ○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解する。 ○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果どの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解する。 【思考・判断・表現】 ○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○DNAの構造について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。	○指導事項 1 生物と遺伝子 2 DNAの構造 3 DNAの複製と分配 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。 ○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。 ○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果どの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 ○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○DNAの構造について、学習した用語のつながりを整理し、振り返ろうとしている。	○	○	○	5

<p>単元「遺伝情報とタンパク質」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解する。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解する。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タンパク質 2 タンパク質と遺伝情報 3 細胞の分化と遺伝子 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2学期</p> <p>単元「体を調節するしくみ」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解する。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解する。</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモンその作用について理解する。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察する。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気づき考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体内環境 2 神経系による情報伝達 3 内分泌系による情報伝達 4 血糖濃度の調節 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察している。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気づき考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し振り返ろうとしている。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元「免疫のはたらき」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいていることを理解する。</p> <p>○一次応答と二次応答のしくみと免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解する。</p> <p>○アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察する。</p> <p>○一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 免疫のしくみ 2 免疫の応用 3 免疫とさまざまな疾患 <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいていることを理解している。</p> <p>○一次応答と二次応答と、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。</p> <p>○アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察している。</p> <p>○一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	15
<p>定期考査</p>			○	○		1

3 学 期	<p>単元「植生と遷移」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解する。</p> <p>○モデル的な遷移の過程について理解する。</p> <p>○遷移の結果、気候に応じたバイオームが形成されることを理解する。</p> <p>○地域ごとに気候が異なり、自分の住んでいる地域と比較して、水平分布・垂直分布と関連付けて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○身近な植生と環境の観察から、植生と土壌、光の当たり方などの環境条件との関係に気づき、考察する。</p> <p>○森林、草原、砂漠が成立する場所の年平均気温と年降水量を調べ、環境条件によって植生が異なることに気づき、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○森林の写真や絵画から、森林の階層構造について理解する。</p> <p>○植生と遷移について、学習した用語どうしのつながりを整理し振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 身のまわりの植生</p> <p>2 植生の遷移</p> <p>3 遷移とバイオーム</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解している。</p> <p>○モデル的な遷移の過程を理解している。</p> <p>○遷移の結果、気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。</p> <p>○地域ごとに気候が異なり、自分の住んでいる地域と比較して、水平分布・垂直分布と関連付けて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○身近な植生と環境の観察から、植生と土壌光の当たり方などの環境条件との関係に気づき、考察している。</p> <p>○森林、草原、砂漠が成立する場所の年平均気温と年降水量を調べ、環境条件によって植生が異なることに気づき考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○森林の写真や絵画から、森林の階層構造について理解しようとしている。</p> <p>○植生と遷移について、学習した用語のつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>単元「生態系と生物の多様性」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○環境と生態系の種多様性の関係について理解する。</p> <p>○キーストーン種による生態系の維持について理解する。</p> <p>○生態系のバランスと人為的攪乱を関連づけて理解する。</p> <p>○保全の重要性を理解する。</p> <p>○人間活動が生態系に与える影響について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○地表を歩きまわる生物の観察から、身近な生態系の中に多種類の生物が存在することに気づき出現する生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察する。</p> <p>○磯の生態系に見られる生物の食物網の資料と、ヒトデのような上位の捕食者を取り去ったときの下位の生物の種類数の変化を示す資料から、変化が生じた理由を考察し、捕食と被食の関係が種多様性に関わることを見いだして考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○環境アセスメントに関心をもちさまざまな資料を調べたり、友達と対話したりしながら、生態系の保全の重要性を考える。</p> <p>○生態系とその保全について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 生態系における生物の多様性</p> <p>2 生態系における生物間の関係</p> <p>3 生態系と人為的攪乱</p> <p>4 生態系の保全</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○環境と生態系の種多様性の関係について理解している。</p> <p>○キーストーン種による生態系の維持について理解している。</p> <p>○生態系のバランスと人為的攪乱を関連づけて理解している。</p> <p>○生態系の保全の重要性を理解している。</p> <p>○人間活動が生態系に与える影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○地表を歩きまわる生物の観察から、身近な生態系の中に多種類の生物が存在することに気づき、出現する生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察している。</p> <p>○磯の生態系に見られる生物の食物網の資料と、ヒトデのような上位捕食者を取り去ったときの生物の種類数の変化を示す資料から、変化が生じた理由を考察し、捕食と被食の関係が種多様性に関わることを見いだして考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○環境アセスメントに関心をもち、さまざまな資料を調べたり、友達と対話したりしながら、生態系の保全の重要性について考えようとしている。</p> <p>○生態系とその保全について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査				○	○	
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～

使用教科書：（東京書籍 改訂 新編 化学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、化学や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	化学の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現し、科学的に探究する力を身に付ける。	化学や化学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元「化学とは何か」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○化学が物質や変化を対象とする学問であることを理解する。 ○物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 物質やその変化 2 物質の性質 <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 ○物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究している。 	○	○	○	4
	<p>単元「物質の成分と構成元素」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解する。 ○混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する方法を身に付ける。 ○粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解する。 ○原子の電子配置と周期表の族や周期の関係について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○代表的な典型元素について、簡単なモデルで表す。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 物質の成分 2 物質の構成元素 3 状態変化と熱運動 <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解している。 ○混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 ○粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解している。 ○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○代表的な典型元素について、簡単なモデルで表している。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「原子の構造と周期表」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ○原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素を簡単なモデルで表す。 ○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解する。 ○イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 原子の構造 2 イオン 3 元素の相互関係 <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解している。 ○原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表している。 ○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ○イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究している。 	○	○	○	5

	<p>単元 「化学結合」 【知識・技能】 ○イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付ける。 ○物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解する。 ○共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合の知識も身に付ける。 ○共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付ける。 ○電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付ける。 ○金属結合や金属結晶の性質について理解し知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ○イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづき説明する。 ○物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察する。 ○観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○学習課題に対し積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	<p>○指導事項 1 イオン結合 2 共有結合 3 金属結合 4 結晶の比較と単位格子 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ○物質に関心を持ち、物質の取り扱い方を理解している。 ○共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合の知識も身に付けている。 ○共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ○電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付けている。 ○金属結合や金属結晶の性質について理解し知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ○イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明している。 ○物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察している。 ○観察・実験の過程から、考えを導き出した報告書を作成したり、発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究している。</p>					9
	定期考査			○	○			1
	<p>単元「物質質量と化学反応式」 【知識・技能】 ○物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解する。 ○物質質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質質量と質量気体の体積との関係も理解する。 【思考・判断・表現】 ○物質質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換する。 ○水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質質量を計算によって求める。 ○化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表す。 ○化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断する。 ○実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察する。 ○化学変化の量的関係を物質質量と関連付けて考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表する。 ○化学反応の量的関係の実験から自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表する。 ○学習課題に対し積極的に観察・実験を行い意欲的に探究する。</p>	<p>○指導事項 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応の表し方 5 化学反応式の表す量的関係 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ○物質質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質質量と質量気体の体積との関係も理解している。 【思考・判断・表現】 ○物質質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。 ○水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質質量を計算によって求めている。 ○化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表している。 ○化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断している。 ○実験で得られたデータのグラフ化など処理を行い、結果を化学的に考察している。 ○化学変化の量的関係を物質質量と関連付けて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり発表している。 ○化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表している。 ○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究している。</p>					12
	定期考査			○	○			1
2 学 期	<p>単元「酸と塩基」 【知識・技能】 ○酸と塩基の定義や分類を理解し酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類する。 ○水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付ける。 ○中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解する。</p>	<p>○指導事項 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度 3 中和と塩 4 中和滴定 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類している。 ○水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 ○中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。 ○中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。</p>					

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～

使用教科書：（東京書籍 改訂 新編 物理基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察や、計算などに関する基本的な技能を身に付ける。	日常的な現象について疑問を見だし、観察、実験などを行い、科学的に思考し表現する力を身に付ける。	日常の現象に物理的、科学的な視点をもって主体的に関わり、探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>単元「直線運動の世界」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○物体の速度や変位の表し方や、物体と観測者の関係性から合成速度と相対速度の違いを理解する。</p> <p>○加速度の考え方を理解し、初速度によって変化する物体の落下運動を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○電車の動きやエスカレーターなどの運動の観察から、日常に潜む物理現象を見出し、法則性を見出し、表現する。</p> <p>○様々な速度、変位、加速度や落下運動について、計算を用いてその大きさや向きを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 運動の表し方</p> <p>2 変位と速度</p> <p>3 等速直線運動</p> <p>4 合成速度と相対速度</p> <p>5 速度が変わる運動</p> <p>6 自由落下運動</p> <p>7 鉛直投射</p> <p>8 水平投射</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○物体の速度や変位の表し方や、物体と観測者の関係性から合成速度と相対速度の違いを理解することができる。</p> <p>○加速度の考え方を理解し、初速度によって変化する物体の落下運動を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○電車の動きやエスカレーターなどの運動の観察から、日常に潜む物理現象を見出し、法則性を見出し、表現することができる。</p> <p>○様々な速度、変位、加速度や落下運動について、計算を用いてその大きさや向きを求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようすることができる。</p>				17	
	定期考査				○	○		1
	<p>単元「力と運動の法則」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○物体に生じる基本的な力について理解し、力のつり合いの式から力の大きさや向きを求める。</p> <p>○運動の3法則について理解し、運動方程式を用いて物体に生じる加速度や力を求める。</p> <p>○物体に生じる圧力や様々な抗力について理解し、力のつり合いや運動方程式を用いて圧力や抗力を求める。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○綱引きや物体の落下などの実験、観察から、物体にはたらく力を考察する。</p> <p>○力のつり合い、運動方程式を用いて物体にはたらく力や加速度を求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 力のつり合い</p> <p>2 力の合成と分解</p> <p>3 垂直抗力と弾性力</p> <p>4 慣性の法則</p> <p>5 「運動の変化」と「力」</p> <p>6 作用・反作用の法則</p> <p>7 動摩擦力とその性質</p> <p>8 静止摩擦力とその性質</p> <p>9 空気の抵抗力</p> <p>10 水圧と浮力</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○物体に生じる基本的な力について理解し、力のつり合いの式から力の大きさや向きを求めることができる。</p> <p>○運動の3法則について理解し、運動方程式を用いて物体に生じる加速度や力を求めることができる。</p> <p>○物体に生じる圧力や様々な抗力について理解し、力のつり合いや運動方程式を用いて圧力や抗力を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○綱引きや物体の落下などの実験、観察から、物体にはたらく力を考察することができる。</p> <p>○力のつり合い、運動方程式を用いて物体にはたらく力や加速度を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようすることができる。</p>				20	
定期考査				○	○		1	
<p>単元「力学的エネルギー」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○仕事や仕事の原理、仕事率について理解する。</p> <p>○運動エネルギーと位置エネルギーについて理解する。</p> <p>○力学的エネルギー保存則と、保存則が成立する条件について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○振り子の実験や物体の落下運動などの実験から、エネルギーや仕事について考察し、表現する。</p> <p>○仕事の式や仕事率の式、力学的エネルギー保存則から、物体がもつエネルギーや仕事の大きさを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 仕事</p> <p>2 仕事率</p> <p>3 運動エネルギー</p> <p>4 位置エネルギー</p> <p>5 力学的エネルギー</p> <p>6 いろいろな運動でみる力学的エネルギー</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○仕事や仕事の原理、仕事率について理解する。</p> <p>○運動エネルギーと位置エネルギーについて理解する。</p> <p>○力学的エネルギー保存則と、保存則が成立する条件について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○振り子の実験や物体の落下運動などの実験から、エネルギーや仕事について考察し、表現する。</p> <p>○仕事の式や仕事率の式、力学的エネルギー保存則から、物体がもつエネルギーや仕事の大きさを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようすることができる。</p>				20		

2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>単元「熱」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○セルシウス温度と絶対温度について理解する。</p> <p>○熱平衡と熱量の保存について理解する。</p> <p>○熱力学第一法則、第二法則について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○セルシウス温度と絶対温度について、2つの違いを理解し、温度の変換する。</p> <p>○熱平衡と熱量の保存について理解し、熱量の式を用いて温度変化や比熱を求める。</p> <p>○熱力学第一法則、第二法則について理解し、熱効率を求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 温度と熱</p> <p>2 熱と物質</p> <p>3 熱の移動と保存</p> <p>4 熱と仕事</p> <p>5 熱機関と不可逆変化</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○セルシウス温度と絶対温度について理解することができる。</p> <p>○熱平衡と熱量の保存について理解することができる。</p> <p>○熱力学第一法則、第二法則について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○セルシウス温度と絶対温度について、2つの違いを理解し、温度の変換し、求めることができる。</p> <p>○熱平衡と熱量の保存について理解し、熱量の式を用いて温度変化や比熱を求めることができる。</p> <p>○熱力学第一法則、第二法則について理解し、熱効率を求めることができる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとすることができる。</p>	○	○	○	11
	<p>単元「波」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○波の性質と特徴、波の基本式を理解する。</p> <p>○波の重ね合わせと反射について理解する。</p> <p>○音波と弦・気柱の固有振動について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○ウェーブマシンやばね、おんさをを用いた実験、観察で、波や音波の性質を考察し、表現する。</p> <p>○波の基本式を用いて、波の特徴を求める。</p> <p>○重ね合わせの原理や波の独立性などの法則を用いて、未来の波形を描く。</p> <p>○音波の式や固有振動数の式を用いて、聞き取る音の振動数などを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 いろいろな波</p> <p>2 波の表し方</p> <p>3 横波と縦波</p> <p>4 波の重ね合わせ</p> <p>5 定在波</p> <p>6 波の反射</p> <p>7 音波</p> <p>8 弦の固有振動</p> <p>9 気柱の固有振動</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○波の性質と特徴、波の基本式を理解することができる。</p> <p>○波の重ね合わせと反射について理解することができる。</p> <p>○音波と弦・気柱の固有振動について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○ウェーブマシンやばね、おんさをを用いた実験、観察で、波や音波の性質を考察し、表現することができる。</p> <p>○波の基本式を用いて、波の特徴を求めることができる。</p> <p>○重ね合わせの原理や波の独立性などの法則を用いて、未来の波形を描くことができる。</p> <p>○音波の式や固有振動数の式を用いて、聞き取る音の振動数などを求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとすることができる。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元「電気」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○電子と電流の関係性を理解する。</p> <p>○電気抵抗と直列つなぎ、並列つなぎを理解する。</p> <p>○電流と地場の関係性と発電の仕組みを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○静電気や回路を作成する実験、観察で、電圧、電流、抵抗の関係性を考察し、表現する。</p> <p>○電子と電流の関係性を理解し、導体内を流れる電子の個数を求める。</p> <p>○オームの法則や抵抗のつなぎ方の関係性から、電流や電圧の大きさを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 動いていない電気、動いている電気</p> <p>2 電流と電気抵抗</p> <p>3 直列接続と並列接続</p> <p>4 電力と電力量</p> <p>5 電流が作る地場</p> <p>6 発電機の仕組み</p> <p>7 直流と交流</p> <p>8 電磁波</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>単元「電気」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○電子と電流の関係性を理解することができる。</p> <p>○電気抵抗と直列つなぎ、並列つなぎを理解することができる。</p> <p>○電流と磁場の関係性と発電の仕組みを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○静電気や回路を作成する実験、観察で、電圧、電流、抵抗の関係性を考察し、表現することができる。</p> <p>○電子と電流の関係性を理解し、導体内を流れる電子の個数を求めることができる。</p> <p>○オームの法則や抵抗のつなぎ方の関係性から、電流や電圧の大きさを求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとすることができる。</p>	○	○	○	12
	<p>単元「エネルギーとその利用」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○様々なエネルギーの形と変換、保存、安全性について理解する。</p> <p>○原子核の表し方や放射線、核融合、核分裂について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○映像資料から放射線についての知識を深め、安全性について考察し、表現する。</p> <p>○原子核の表し方と核融合、核分裂について理解し、陽子、電子と中性子の数などを求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとする。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 エネルギーの変換と保存</p> <p>2 原子核のエネルギー</p> <p>3 放射線の利用と安全性</p> <p>4 エネルギーの利用と課題</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>単元「エネルギーとその利用」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○様々なエネルギーの形と変換、保存、安全性について理解することができる。</p> <p>○原子核の表し方や放射線、核融合、核分裂について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○映像資料から放射線についての知識を深め、安全性について考察し、表現することができる。</p> <p>○原子核の表し方と核融合、核分裂について理解し、陽子、電子と中性子の数などを求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○日常生活に関連付けて、主体的に物理現象を探究しようとすることができる。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～ 組
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】
	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認		○	○	○	1
【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようすることができるようにする。	○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 体づくり運動 ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コアコーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○指導事項 ・測定の方法や行い方を理解し、自身の体力について知ること ○教材 体力テスト ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、測定に協力しようとしてたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。	○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・スポーツの歴史的發展と多様な変化。 ・現代のスポーツの意義や価値 ・一人一台端末	【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

<p>【ダンス（現代的なリズムダンス）】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。また、現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って体幹部を中心に全身で自由に弾んで踊ること <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> リズムジャンプダンス 一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	5
<p>【バドミントン】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防すること <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> バドミントン シングルス サーブ ラリー クリアー ドライブ ロビング ヘアピン スマッシュ パターン練習 ダブルス ドライブ&ヘアピン クリアー&スマッシュ 動き方 一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	5
<p>【体づくり運動】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動 ストレッチ 筋力トレーニング等 コアトレーニング コアストレッチ 体幹トレーニング等 ボールを使った運動（個人） ボールを使った運動（ペア） ボールを使った運動（集団） 	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	2
<p>【バスケットボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> バスケットボール シュート パス ドリブル 動き方 守備 一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8

2 学 期	<p>【テニス】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手側コートの空いた場所をめぐる攻防 ・役割に応じたボール操作や安定した用具操作 <p>○教材</p> <p>テニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス ・ラリー ・ボレー ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
	<p>【ソフトボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事や、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <p>安定したバット操作と蓋類での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防すること</p> <p>○教材</p> <p>ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール ・捕球 ・送球 ・バッティング ・動き方 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。 				8
	<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていくことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること <p>○教材</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済的効果と高潔さ。 ・スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えていく。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2

3 学 期	<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること <p>○教材</p> <p>フットサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュート ・パス ・守備 ・動き方 ・ドリブル ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること <p>○教材</p> <p>バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サービス ・スパイク ・ローテーション ・動き方 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 				8
							合計
							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～ 組
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：
 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認		○	○	○	1
【体づくり運動】 【知識及び技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 体づくり運動 ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保したりしている。	○指導事項 ・測定の方法や行い方を理解し、自身の体力について知ること ○教材 体力テスト ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、測定に協力しようしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。	○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ・スポーツの技術と技能及びその変化 ・一人一台端末	【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

<p>【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ニュースポーツの行い方やルールについて理解し、勝敗を味わうこと ○教材 ・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトクロス ・ドッジビー</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【バドミントン】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること ○教材 バドミントン シングルス ・サービス ・ラリー ・クリアー ・ドライブ ・ロビング ・ヘアピン ・スマッシュ ・パターン練習 ダブルス ・ドライブ&ヘアピン 動き方 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 コーディネーショントレーニング ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）</p>	<p>【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	2
<p>【バスケットボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること ○教材 バスケットボール シュート ・パス ・ドリブル ・動き方 ・守備 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>【テニス】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法や協議会の仕方や関わり方 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防 ○教材 テニス ・サーブ ・ラリー ・ボレー 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ○技能 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
<p>【ソフトボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 安定したバット操作と薬類での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防すること ○教材 ソフトボール ・キャッチボール ・捕球 ・送球 ・バッティング ・動き方 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>				8
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・運動やスポーツの技能の上達家庭運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2

3 学 期	<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること <p>○教材</p> <p>フットサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュート ・パス ・守備 ・動き方 ・ドリブル ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること <p>○教材</p> <p>バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ローテーション ・動き方 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 				8
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ 組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認		○	○	○	1
【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようすることができるようにする。	○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 ・体づくり運動 ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コアオーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、健康・安全を確保したりしている。	○指導事項 ・測定の方法や行い方を理解し、自身の体力について知ること ○教材 体力テスト ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、測定に協力しようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。	○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・一人一台端末	【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

1学期

<p>【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ニュースポーツの行い方やルールについて理解し、勝敗を味わうこと ○教材 ・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトラクロス ・ドッジビー</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【バドミントン】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防すること ○教材 バドミントン シングル ・サーブ ・ラリー ・クリアー ・ドライブ ・ロビング ・ヘアピン ・スマッシュ ・パターン練習 ダブルス ・ドライブ&ヘアピン ・クリアー&スマッシュ 動き方 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 体づくり運動 ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）</p>	<p>【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとする、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	2
<p>【バスケットボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること ○教材 バスケットボール シュート ・パス ・ドリブル ・動き方 ・守備 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>【テニス】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法や協議会の仕方や関わり方 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防 ○教材 テニス ・サービス ・ラリー ・ボレー 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ○技能 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
<p>【ソフトボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 安定したバット操作と藻類での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防すること ○教材 ソフトボール ・キャッチボール ・捕球 ・送球 ・バッティング ・動き方 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>				8
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・スポーツの技術と技能及びその変化 一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2

3 学 期	<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること <p>○教材</p> <p>フットサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュート ・パス ・守備 ・動き方 ・ドリブル ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること <p>○教材</p> <p>バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ローテーション ・動き方 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 				8
合計							
70							

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組～ 組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認		○	○	○	1
【体づくり運動】 【知識及び技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 ・体づくり運動 ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コアオーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○指導事項 ・測定の方法や行い方を理解し、自身の体力について知ること ○教材 体力テスト ・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、測定に協力しようとして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。	○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 豊かなスポーツライフの設計の仕方 ・運動やスポーツの技能の上達過程 ・一人一台端末	【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4

<p>【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ニュースポーツの行い方やルールについて理解し、勝敗を味わうこと ○教材 ・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトクロス ・ドッチビー</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【バドミントン】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること ○教材 バドミントン シングルス ・サーブミス ・ラリー ・クリアー ・ドライブ ・ロビング ・ヘアピン ・スマッシュ ・パターン練習 ダブルス ・ドライブ&ヘアピン ・クリアー&スマッシュ ・動き方 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	5
<p>【体づくり運動】 【知識及び技能】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということができる</p>	<p>○指導事項 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動に取り組むこと ○教材 ・体づくり運動について ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コア・ディネーション・トレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）</p>	<p>【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということ、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	2
<p>【バスケットボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること ○教材 バスケットボール ・シュート ・パス ・ドリブル ・動き方 ・守備 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>【テニス】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする</p>	<p>○指導事項 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法や協議会の仕方や関わり方 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防 ○教材 テニス ・サーブ ・ラリー ・ボレー ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ○技能 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>【ソフトボール】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 安定したバット操作と藻類での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防すること ○教材 ソフトボール ・キャッチボール ・捕球 ・送球 ・バッティング ・動き方</p>	<p>【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>8</p>
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること ○教材 運動やスポーツの効果的な学習の仕方 ・運動やスポーツの技能上達過程 ・一人一台端末</p>	<p>【知識・技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>2</p>

3 学 期	<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> フットサル ・シュート ・パス ・守備 ・動き方 ・ドリブル ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。 	○	○	○	8
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の動作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防すること <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> バレーボール ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サーブ ・スパイク ・ローテーション ・動き方 ・一人一台端末 	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをして、健康・安全を確保したりしている。 				8
							合計
							70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ 組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体901 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
(1) 現代社会と健康 (7) 健康の考え方 【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 ○教材 01_健康の考え方と成り立ち 02_私たちの健康のすがた 18_健康に関する意思決定・行動選択 19_健康に関する環境づくり ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート	【知識・技能】 ①我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を踏まえた国民の健康課題について、また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがい重視する健康の考え方などを例として健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であること、適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していること、健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ③健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
1学期						

<p>(1) 現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表示する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>03_生活習慣病の予防と回復 04_がんの原因と予防 05_がんの治療と回復 06_運動と健康 07_食事と健康 08_休養・睡眠と健康 09_喫煙と健康 10_飲酒と健康 11_薬物乱用と圓光 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないこと、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>	<p>1学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>上記 (1) 現代社会と健康 (7)健康の考え方 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 (ア)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康による</p>	○	○		1
<p>(1) 現代社会と健康 (ウ)精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表示する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>12_精神疾患の特徴 13_精神疾患の予防 14_精神疾患からの回復 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であること、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②精神疾患の予防と回復には、身体と健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であること、心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まること、人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療を受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ②精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6

<p>(1) 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防 【知識及び技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>15_現代の感染症 16_感染症の予防 17_性感染症・エイズとその予防 ・タブレット端末 ・一人1台端末</p>	<p>【知識・技能】 ①感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、交通網の発達により短時間で広がりがやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症の原因、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ②現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>	<p>2学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>上記 (1) 現代社会と健康 (イ) 精神疾患の予防と回復 (イ) 現代の感染症とその予防 (2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり による</p>	○	○		1
<p>3 学 期</p> <p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり 【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに適した個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

<p>(2) 安全な社会生活 (4) 応急手当</p> <p>【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解を深める。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>04_応急手当の意義とその基本 05_日常的な応急手当 06_心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート 	<p>【知識・技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。</p> <p>③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に活用している。</p> <p>②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査	学年末考査 及び 答案返却・解説	上記 (2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり (4) 応急手当 による	○	○		1
合計						35

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <p>①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</p> <p>④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2

<p>1 学 期</p>	<p>(2) 安全な社会生活 (4) 応急手当 【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解を深める。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>04_応急手当の意義とその基本 05_日常的な応急手当 06_心肺蘇生法 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。 ③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>(3) 生涯を通じる健康 (7) 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_ライフステージと健康 02_思春期と健康 03_性意識と性行動の選択 04_妊娠・出産と健康 05_避妊法と人工妊娠中絶 06_結婚生活と健康 07_中高年期と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。 ③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査	1学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記	(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり (4) 応急手当 による (3) 生涯を通じる健康 (7) 生涯の各段階における健康	○	○		1

	<p>(3) 生涯を通じる健康 (イ) 労働と健康 【知識・技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をすることが必要であることについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>08_働くことと健康 09_労働災害と健康 10_健康的な職業生活 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたこと、また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であること、その際、仕事のストレスによる精神疾患が含まれていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと、その際、ストレスに対する気付きへの援助、リラクゼーションの指導など、メンタルヘルスが重要視されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ③生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
2学期	<p>(4) 健康を支える環境づくり (7) 環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること、また、環境衛生活動は、学校や地の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_大気汚染と健康 02_水質汚濁、土壌汚染と健康 03_環境と健康にかかわる対策 04_ごみの処理と上下水道の整備 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であること、また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査	2学期期末考査 及び 答案返却・解説	上記 (3) 生涯を通じる健康 (イ) 労働と健康による (4) 健康を支える環境づくり (7) 環境と健康	○	○		1	

3 学 期	<p>(4) 健康を支える環境づくり (イ) 食品と健康 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること、また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>05_食品の安全性 06_食品衛生にかかわる活動 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>(4) 健康を支える環境づくり (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること、また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>07_保健サービスとその活用 08_医療サービスとその活用 09_医薬品の制度とその活用 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>(4) 健康を支える環境づくり (エ) 様々な保健活動や社会的対策 【知識及び技能】 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>10_さまざまな保健活動や社会的対策 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2

<p>(4) 健康を支える環境づくり (オ)健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>11_健康に関する環境づくりと社会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート 	<p>【知識・技能】 ①自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>	<p>学年末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>(4) 健康を支える環境づくり (イ)食品と健康 (ロ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (ハ)様々な保健活動や社会的対策 (ニ)健康に関する環境づくりと社会参加による</p>	○	○		1
合計						35

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 工芸 I

教科：芸術

科目：工芸 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 工芸 I 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

科目 工芸 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸についての基本的な知識・理解。 道具や素材についての理解。	素材の特性を生かした表現。 技法について理解し、目的に応じた形態の作品の製作。	良い作品を制作しようという向上心。 準備、片付けを含む制作への前向きな取り組み。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学 期	オリエンテーション・グラスリッツェン 【知識及び技能】 ガラス素材と道具の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの性質、用途に合わせたデザインを考える。完成度の高い作品を作る事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・工芸の定義の説明。 ・年間授業計画の説明。 ・グラスリッツェン作品の紹介。 ・ガラスのデザインのデザイン。 ・ガラスの性質、ガラス彫刻張りの使い方。	○	○	○	【知識及び技能】 ガラス彫刻針を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの性質、用途に合わせたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	4
		・グラスリッツェンの製作。	○			【知識及び技能】 ガラス彫刻針を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 作品完成度 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
	木工 【知識及び技能】 木材と道具の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 木の性質、用途に合わせたデザインを考える。完成度の高い作品を作る事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・木工 木の種類と用途。 ・木のスプーンのデザイン。 ・電動のこぎりと彫刻刀の使い方。	○	○	○	【知識及び技能】 電動のこぎり、彫刻刀を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 木の性質、用途に合わせたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
		・木工 木のスプーンの製作。 ・彫刻刀の彫り方の種類。 ・棒やすりと紙やすりの使い方。 ・ステイン、との粉、ワックスの特性と用途。使用。	○			【知識及び技能】 ステイン、との粉、ワックスを正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	6
2 学 期	染色 【知識及び技能】 藍染、ろうけつ染めの構造、手順の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 藍色、ろうけつ染めの特性を生かしたデザインを考えることができる。完成度の高い作品を作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・染色の種類の説明。染色の歴史。 ・トートバッグのデザイン。 ・下書き ・ろうびき ・藍染	○	○	○	【知識及び技能】 素材の理解、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。デザイン性。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	12
	クラフトバンドのかご作り 【知識及び技能】 素材の理解、色々の編み方、工程の理解。	籐細工など、弦を編んで作る伝統工芸の紹介。 ・クラフトバンドで基本的な編み方で小さいかごを作る。 ・クラフトバンド自由制作。基本を理解し、自分の生活に使える籠をデザインする。				【知識及び技能】 素材の理解、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。デザイン性。				

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 芸術 科目 工芸Ⅱ

教科：芸術 科目：工芸Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第4学年 A組～ 組
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（ Ⅲ工芸Ⅱ 日本文教出版 Ⅰ ）
 教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

科目 工芸Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸についての基本的な知識・理解。 道具や素材についての理解。	素材の特性を生かした表現。 技法について理解し、目的に応じた形態の作品の製作。 実際の使用感をイメージしたデザインの発想。	良い作品を制作しようという向上心。 準備、片付けを含む制作への前向きな取り組み。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学 期	オリエンテーション・グラスリッツェン 【知識及び技能】 ガラス素材と道具の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの性質、用途に合わせたデザインを考える。完成度の高い作品を作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・工芸の定義の説明。 ・年間授業計画の説明。 ・グラスリッツェン作品の紹介。 ・ガラスのデザインのデザイン。 ・ガラスの性質、ガラス彫刻張りの使い方。	○	○	○	【知識及び技能】 ガラス彫刻針を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの性質、用途に合わせたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	4
		・グラスリッツェンの製作。	○			【知識及び技能】 ガラス彫刻針を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 作品完成度 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
	木工 【知識及び技能】 木材と道具の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 木の性質、用途に合わせたデザインを考える。完成度の高い作品を作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・木工 木の種類と用途。 ・木のスプーンのデザイン。 ・電動のこぎりと彫刻刀の使い方。	○	○	○	【知識及び技能】 電動のこぎり、彫刻刀を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 木の性質、用途に合わせたデザインを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
	・木工 木のスプーンの製作。 ・彫刻刀の彫り方の種類。 ・棒やすりと紙やすりの使い方。 ・ステイン、との粉、ワックスの特性と用途。使用。	○			【知識及び技能】 ステイン、との粉、ワックスを正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	6	
2 学 期	染色 【知識及び技能】 藍染、ろうけつ染めの構造、手順の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】 藍色、ろうけつ染めの特性を生かしたデザインを考えることができる。完成度の高い作品を作ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・染色の種類の説明。染色の歴史。 ・トートバッグのデザイン。 ・下書き ・ろうびき ・藍染	○	○	○	【知識及び技能】 素材の理解、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。デザイン性。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	12

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（ ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（書道 I 東京書籍 ）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	漢	仮						
書写から書道へ □書写で学んできたこと □用具・用材 □姿勢・執筆法 【知識及び技能】 ・効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける	・指導事項 書写と書道の違いについて理解する。 用具・用材・姿勢・執筆法について理解し、今後の学習の基盤を形成する。				○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	2
漢字 □漢字の成立と変遷 □古典に基づく学習 【知識及び技能】 ・漢字の成立と変遷について、実例を元に理解する ・書道の学習方法を知り、その意義を確認するとともに、書に関する見方・考え方を働かせる 【思考力、判断力、表現力等】 ・それぞれの書体の違いと特徴を理解する	・指導事項 漢字の成立と変遷について学ぶ。 漢書の種類とそれぞれの意味について学習し、今後の学習に生かせるよう基盤を作る。		○		○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	1
楷書 □楷書の特徴 □表現を比べよう □九成宮醜泉銘 □孔子廟堂碑 □雁塔聖教序 □自書告身 □牛橛造像記 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感受する 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ	・指導事項 楷書のそれぞれの特徴を理解し、その違いを言語化して捉える。 それぞれの特徴を踏まえて臨書する。 書表現の多様性を理解し、積極的に鑑賞する態度を身に付けさせる。 時代による書の変化を理解する。				○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	11
行書 □行書の特徴 □蘭亭序 □争坐位文稿 □風信帖 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感受する ・書風の違いを考え、効果的に表現する	・指導事項 楷書との違い、行書ならではの特徴を理解する。 表現方法、書風を理解し、表現する。 軽快な用筆を理解し、身につける。 創作を意識し、書作品のまとめ方を習得する。				○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	8

1
学
期

	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ ・創作することを意識し、表現方法などを理解する姿勢を持って取り組む 									
2 学 期	<p>漢字</p> <p>□鑑賞-書のみや風趣を味わおう-</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する 	<p>・指導事項</p> <p>様々な作品を鑑賞し、よさや美しさを言語化し、根拠を持って説明する。</p>								2
	<p>漢字</p> <p>□創作-古典を活かそう-</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ 	<p>・指導事項</p> <p>古典の学習や鑑賞を通し、意図に基づいた表現で創作できるよう、積極的かつ能動的に活動する。</p>							6	
	<p>草書</p> <p>□草書の特徴</p> <p>□真草千字文</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感じる ・行書との違いを考え、効果的に表現する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ ・創作することを意識し、表現方法などを理解する姿勢を持って取り組む 	<p>・指導事項</p> <p>表現方法、書風を理解し、表現する。</p> <p>躍動的で軽快な用筆を理解し、身につける。</p> <p>創作を意識し、書作品のまとめ方を習得する。□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p> <p>□</p>							4	
	<p>隷書</p> <p>□隷書の特徴</p> <p>□曹全碑</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に表現するための基礎的な技能を身につける <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考える <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ ・創作することを意識し、表現方法などを理解する姿勢を持って取り組む 	<p>・指導事項</p> <p>隷書の特徴、用筆を理解する。</p> <p>隷書ならではのデザイン性、実用されている例を見つける。</p> <p>中鋒について理解する。</p>							4	
	<p>篆書</p> <p>□篆書の特徴</p> <p>□泰山刻石</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に表現するための基礎的な技能を身につける <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考える <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ ・創作することを意識し、表現方法などを理解する姿勢を持って取り組む 	<p>・指導事項</p> <p>篆書の特徴、用筆を理解する。</p> <p>中鋒について理解する。</p>							4	
<p>仮名</p> <p>□仮名の成立</p> <p>□仮名を書く準備</p> <p>□平仮名の単体</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に表現するための基礎的な技能を身につける 	<p>・指導事項</p> <p>用筆・運筆によって線質が変わることを理解し、意図に基づいた表現ができるようにする。</p>								2	

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位
 対象学年組：第4学年組
 教科担当者：（ ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（書道Ⅱ 東京書籍 ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 書の表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書の活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の高さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		漢 仮	漢	仮							
漢字の書体とその特徴 □書道Ⅰで学んできたこと 【知識及び技能】 ・効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける	・指導事項 書道Ⅰで学習した漢字の書体の成立を踏まえて、それぞれの書体の特徴について確認する。				○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録		○	○	○	2
篆書 「石鼓文」 「甲骨文」 「大孟鼎」 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感じる ・書風の違いを考え、効果的に表現する 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ ・創作することを意識し、表現方法などを理解する姿勢を持って取り組む	・指導事項 ・書道Ⅰの篆書の学習を踏まえて、個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。				○	○	○	○	○	○	6
篆刻・刻字 創作 【知識及び技能】 ・自分の考えに即した表現を表せられる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典に即した表現を考える	・印の歴史や役割、用法などを理解する。 ・書道Ⅰの篆刻の創作を踏まえ、創作の手順に従って落款印を刻し、押印する。				○	○					6
隷書 「礼器碑」 「張遷碑」 「開通褒斜道刻石」 「居延漢簡」 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける	・書道Ⅰの隷書の学習を踏まえて、個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。				○	○					8

使用教科書: (All Aboard! English CommunicationⅡ)

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話(や)	書					
Lesson 1 A Colorful Island 【知識及び技能】 [知識]関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解する。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解する。 [技能]関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合おうとする。	【題材内容】 イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 [言語材料] 関係代名詞: what [言語活動] 海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 前單元から次單元への切替時の授業において、以下の項目・内容を追加して指導 「@エンターテイメントにおけるコミュニケーション英語の実践」についての考察 【知識及び技能】 [知識]さまざまな場面における内容を理解する。 [技能]さまざまな内容を概観して、話し伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな内容を概観して、話し伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな場から理解できたことを活用しながら、実態を概観して、相手の意見を知り、自分の考えを伝え合おうとする。	【知識及び技能】 [知識]関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解している。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解している。 [技能]関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	○	○	○	17	
定期考査						○	○		1	
Lesson 2 With the Beatles 【知識及び技能】 [知識]比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解する。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理・理解する。 [技能]比較表現 (more) (the most) の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合おうとする。	【題材内容】 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 [言語材料] 比較表現: more, the most [言語活動] 世代を超えて人気のある人物について英語で述べることができる。 前單元の内容に加え、以下の項目・内容を追加して指導 ビートルズの代表曲を聴き、「①ビートルズの代表曲に含まれる表現表現」②それぞれの曲のリリース背景と慣用表現の関係性」を学ぶ 【知識及び技能】 [知識]①を理解する。また、②について学び理解する。 [技能]①の理解をもとに、②について、考えや気持ちを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①を活用しながら、②について、考えや気持ちを話して伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 ①を活用しながら、②について、相手の意見を知り、自分の考えや気持ちを話して伝え合おうとする。 前單元の内容に加え、以下の項目・内容を追加して指導 2学期のオンライン英会話レッスンに向けての準備として、「①比較表現」②さまざまな場面に対応できる比較表現」を活用し、演習確認の訓練を行う 【知識及び技能】 [知識]①への理解を深める。また、②を理解する。 [技能]①への理解をもとに、②を熟読精読し、即座にコミュニケーションを促す技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ①を活用しながら、②を熟読精読し、即座にコミュニケーションを促す。 【学びに向かう力、人間性等】 ①を活用しながら、②をコミュニケーションパートナーと相互に熟読精読し、互いにコミュニケーションを促し合う。 前單元から次單元への切替時の授業において、以下の項目・内容を追加して指導 「@エンターテイメントにおけるコミュニケーション英語の実践」についての考察 【知識及び技能】 [知識]さまざまな場面における内容を理解する。 [技能]さまざまな内容を概観して、話し伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな内容を概観して、話し伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな場から理解できたことを活用しながら、実態を概観して、相手の意見を知り、自分の考えを伝え合おうとする。	【知識及び技能】 [知識]比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]比較表現 (more) (the most) の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	○	○	○	17	
定期考査						○	○		1	

豊島 高等学校 令和8年度 (定時制課程 4 学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年 A 組

使用教科書: (All Aboard! English Communication II)

教科 外国語

の目標:

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		聞	読	話(や)	話(発)					
Lesson 6 Seeds for Future Generations 【知識及び技能】 [知識]動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解する。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名人場所やものについて調べた事柄を整理・理解する。 [技能]動詞の目的語になるif節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名人場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名人場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名人場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名人場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合うとする。	【題材内容】 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継承について考える。 [言語材料] 動詞の目的語になるif節 [言語活動] 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。 <small>前單元から次單元への切替時の授業において、以下の項目・内容を追加して指導</small> 『空エンターテイメントにおけるコミュニケーション英語の授業』についての考察 【知識及び技能】 [知識]さまざまな場面における内容を理解する。 [技能]さまざまな内容を模倣して、話し伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな内容を模倣して、話し伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな場から理解できたことを活用しながら、実際に模倣して、相手の意見を知り、自分の考えを伝え合おうとする。	[知識]動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名人場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。 [技能]動詞の目的語になるif節の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名人場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名人場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名人場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統野菜に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名人場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	○	○	○	11	
定期考査							○	○		1
Lesson 7 Over the Wall 【知識及び技能】 [知識]関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解する。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解する。 [技能]関係副詞where, whenの理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとする。	【題材内容】 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。 [言語材料] 関係副詞: where, when [言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。 <small>前單元から次單元への切替時の授業において、以下の項目・内容を追加して指導</small> 『空エンターテイメントにおけるコミュニケーション英語の授業』についての考察 【知識及び技能】 [知識]さまざまな場面における内容を理解する。 [技能]さまざまな内容を模倣して、話し伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな内容を模倣して、話し伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな場から理解できたことを活用しながら、実際に模倣して、相手の意見を知り、自分の考えを伝え合おうとする。	[知識]関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。 [技能]関係副詞where, whenの理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	○	○	○	○	○	○	11	
定期考査・答案指導							○	○		2

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ 組
 教科担当者： （ A組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
 使用教科書： （ 第一学習社 高等学校 改訂版 家庭総合 持続可能な未来をつくる ）
 教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて、生活を主体的に営むために必要な基本的な知識理解を図り、関する技能を身に付ける
 - 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践結果を評価し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする基本的な態度を養う。
- 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境等について、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに伴う技能を体験的・総合的に身に付けている、	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。	多様な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会生活に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図ろうとする実践的な態度である。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元1章 これからの生き方と家族 【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対し意思決定をしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	・人の一生を生涯発達の視点でとらえる ライフステージ ワークライフバランス 世帯の捉え方 配偶者選択と結婚行動の変化 民法	【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について基本的な理解がある。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫している。	○		○	7
B 単元2章 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学校や地域において、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努める。	・子どもをそだてること 妊娠の経過と母胎の健康 新生児の運動機能の発達 乳幼児の言語の発達 児童文化財 幼児の遊びを知る 地域社会と子育て支援 子どもの人権	【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援についての基本的な知識理解があり、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学校や地域において、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努めている。	○	○	○	9

	<p>C 単元6章 衣生活を作る</p> <p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫すること。</p>	<p>・高校生の衣生活 被服の保健衛生上の機能 自分らしく装う 既製服の表示 被服素材と性能 ・洗濯方法としくみ その表示 被服の手入れと保管 伝統的衣文化 持続的な世界の衣生活</p>	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理についての基本的な知識を理解し、衣生活の自立に必要な基本的な知識と技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫している。</p>				○	○	8		
	定期考査						○	○		1	
	6章 衣生活を作る 2	被服の仕組みと作り 自身が着用するエプロン作り 型紙作製 裁断 しつけ ミシン アイロン仕上げ								8	
2 学 期	8章 経済生活をつくる	・ライフステージと収入支出 社会保障制度 売買契約と消費者問題（ネット ショッピングDVD） 悪質商法のロールプレイング 消費者支援の法律	【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理が適切にできている。	【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用している。	【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動しようとしている。					18	
	D 単元ホームプロジェクト	・家庭での問題を調べる 課題を持つ一計画を立てる一冬休 みに実践する	【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の基本的な意義と内容、実施方法について理解している。	【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。	【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。			○	○	○	2
	定期考査						○	○		1	

3 学 期	<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・調べたことを絵や文にして発表する。</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の基本的な意義と内容、実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題をもって取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
	<p>B5章 食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取り巻く課題や食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p>	<p>・自身の食生活を振り返る 健康と食生活 近年の食生活の変化 地球規模で考える食一食料自給率 栄養素一炭水化物・資質・タンパク質・無機質（ミネラル）ビタミン 食中毒と食の安全 4群で考えるバランスの取れた食事 調理実習一日常に生かさう</p>	<p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生についての基本的な知識を理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取りまく課題や食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p>				13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 家庭科 科目 家庭総合

教科：家庭科 科目：家庭総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～ 組
 教科担当者：（A組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（第一学習社 高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる ）
 教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義と社会とのかわりについて、生活を主体的に営むために必要な総合的な知識理解と技能を身に付ける
 - 【思考力、判断力、表現力等】 家庭生活や地域社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 多様な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする協働的、実践的な態度を養う。
 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
- 科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。	多様な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会生活に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図ろうとする協働的、実践的な態度である。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	A 単元1章 これからの生き方と家族 【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対し意思決定をしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	・人の一生を生涯発達の視点でとらえる ライフステージ ワークライフバランス 世帯の捉え方 配偶者選択と結婚行動の変化 民法	【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について総合的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対し意思決定をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫している。	○		○	7
	B 単元2章 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に着けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学校や地域において、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努める。	・子どもをそだてること 妊娠の経過と母胎の健康 新生児の運動機能の発達 乳幼児の言語の発達 児童文化財 幼児の遊びを知る 地域社会と子育て支援 子どもの人権	【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための知識と技能を総合的に身に着けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学校や地域において、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努めている。	○	○	○	9

<p>C 単元6章 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫すること。</p>	<p>・ 高校生の衣生活 被服の保健衛生上の機能 自分らしく装う 既製服の表示 被服素材と性能 ・ 洗濯方法としくみ その表示 被服の手入れと保管 伝統的衣文化 持続的な世界の衣生活</p>	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を総合的に身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができています。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫している。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
6章 衣生活をつくる 2	被服の仕組みと作り 自身が着用するエプロン作り 型紙作製 裁断 しつけ ミシン アイロン仕上げ					8
<p>5章 経済生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理が適切にできること。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動しようとしている。</p>	<p>・ ライフステージと収入支出 社会保障制度 売買契約と消費者問題（ネットショッピングDVD） 悪質商法のロールプレイング 消費者支援の法律</p>	<p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について総合的に理解し、情報の収集・整理が適切にできています。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して献身的に行動している。</p>				18
<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・ 家庭での問題を調べる 課題を持つ計画を立てる一冬休みに実践する</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
定期考査			○	○		1

2
学
期

3 学 期	<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・調べたことを絵や文にして発表する。</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と内容、実施方法について総合的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題をもって取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
	<p>B5章 食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取り巻く課題や食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人のかかわりについて積極的に関わる。</p>	<p>・自身の食生活を振り返る 健康と食生活 近年の食生活の変化 地球規模で考える食一食料自給率 栄養素一炭水化物・質質・タンパク質・無機質（ミネラル）ビタミン 食中毒と食の安全 4群で考えるバランスの取れた食事 調理実習一日常に生かさう</p>	<p>【知識・技能】 おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を総合的に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食生活を取りまく課題や食の安全と衛生、日本と世界の食文化まど食と人のかかわりについて積極的に関わる。</p>				13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科：情報

科目：情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 実教出版 図説情報 I 新訂版 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション	1. 中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査 2. コンピュータの起動と終了方法 3. 自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習 4. コンピュータ教室でのマナー	・コンピュータの起動と終了ができる。 ・自分のフォルダ内に実習課題を保存することができる。			○	6
	今までの情報技術とこれからの情報技術	1. 情報と情報社会の特徴 2. 情報化の進展と情報技術 3. 情報社会における個人の責任	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができるか。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解しているか。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けられたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	1 問題解決	1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析 ＜表計算ソフト＞	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解しているか。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けているか。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレインストーミングなどの議論)に、積極的に参画しているか。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について	○	○	○	10
	2 情報社会における法規と制度	1. 情報の管理と保護 2. 知的財産権と産業財産権 3. 著作権	・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学習できたか。 ・知的財産権の概念(知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成)について学習できたか。 ・知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	定期考査						0

2 学 期	3 情報セキュリティと個人が行う対策	1. 認証とパスワード 2. 情報の暗号化 3. コンピュータウイルスと対策	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解したか。 ・安全性の高いパスワードとその管理について理解したか。 ・ネットワーク上での暗号化通信や無線LANでの暗号化対策について理解したか。 ・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について理解したか。	○	○	○	6
	4 メディア	1. メディアの機能と特性 2. メディアリテラシー	・メディアの機能と特性について理解したか。 ・メディアの分類や情報メディア、表現メディア、伝達メディアの特性について理解したか。 ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について理解したか。 ・さまざまな情報メディアの特徴について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	5 コミュニケーション	1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	・コミュニケーションの定義、手段、形態について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット(即時性、利便性、保存性、匿名)について理解したか。	○	○	○	8
	6 情報デザインと表現の工夫	1. 情報デザインの考え方 2. 表現の工夫	・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて理解したか。 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について理解したか。	○	○	○	4
	定期考査						0
3 学 期	7 情報の表し方	1. デジタル表現の特徴 2. 2進数と情報量	・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴(情報の正確な再現・情報の加工の容易さなど)について理解したか。 ・情報量、ビット、バイト、2進法、2進数について理解したか。	○	○	○	5
	8 コンピュータでのデジタル表現	1. 数値の表現 2. 文字のデジタル表現 3. 音の表現 4. 画像の表現 5. 動画の表現とファイル形式	・コンピュータ内部での数値(2進数、16進数)の表現について理解したか。 ・コンピュータにおける文字コード、文字のデジタル表現について理解したか。 ・音のデジタル化、周波数(ヘルツ)、標本化・量子化・符号化、標本化周期や標本化周波数について理解したか。 ・ファイルの種類(音・画像)について理解した	○	○	○	8
	定期考査						1
							合計
※3 1単位35時間になるように作成してください→							70

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科：情報

科目：情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（ 菊池 信隆 ）

使用教科書：（ 実教出版 図説情報 I ）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効身

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 アルゴリズムと基本構造	1 アルゴリズムとは 2 アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本やフローチャート(流れ図)について理解したか。	○	○	○	6
	2 プログラムの基礎(1)	1 簡単なプログラムの作成(VBA) 2 プログラムと変数	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を理解できたか。 ・プログラムにおける変数の役割について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	3 プログラムの基礎(2)	1 順次探索 2 二分探索	・順次探索について理解したか。 ・二分探索について理解したか。	○	○	○	9
	4 プログラムの応用	1 配列とリスト 2 関数	・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る方法について理解できたか。	○	○	○	4
	定期考査						1

2 学 期	5 モデル化	1 モデルとは 2 モデル化(図的モデル)	・モデル化の手順や分類について理解できたか。 ・図的モデルの表現方法, 簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を理解できたか。	○	○	○	6
	6 シミュレーション	1 シミュレーションとは 2 シミュレーション(確定的モデル) 3 シミュレーション(確率的モデル)	・シミュレーションの手順と注意点について理解できたか。 ・確定的モデル, 確率的モデルをシミュレーションするための手順について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	7 データの活用	1 データの収集 2 データの分析	・データの種類と, データの活用の手順や方法について理解できたか。 ・データの尺度水準, ビッグデータとデータマイニングについて理解できたか。 ・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について理解できたか。	○	○	○	8
	8 ネットワークの仕組み	1 ネットワークの構成とプロトコル 2 インターネットの仕組み	・ネットワークとその構成について理解できたか。 ・インターネットに接続する機器の概要について理解できたか。 ・通信規約の役割について理解できたか。 ・IPアドレスや, ドメイン名, URL, DHCPサーバ, DNS, HTMLについて理解できたか。	○	○	○	4
定期考査						1	
3 学 期	9 情報システムとサービス	1 さまざまな情報システム 2 データの流れと情報システム 3 データベースとデータモデル	・インターネットで提供されるサービスとその活用について理解できたか。 ・GPSを使ったサービスについて理解できたか。 ・データベースの意味と役割, リレーショナル型データベースの機能について理解できたか。 ・データモデルの違いと活用例について理解できたか。	○	○	○	4
	10 情報セキュリティ	1 情報セキュリティと対策 2 暗号技術	・情報の安全を守るために, 組織が行っている情報セキュリティ対策について理解できたか。 ・情報セキュリティの3要素(機密性, 安全性, 可用性)について理解できたか。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について理解できたか。 ・暗号化を活用した技術について理解できたか。 ・暗号化の技術とデジタル署名について理解で	○	○	○	8
	定期考査						1
							合計
※3 1単位35時間になるように作成してください→							70

豊島 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（「人間と社会」改訂版）

教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実にも照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実にも照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1) 「人間と社会」における演習の内容 ア 主として自分自身や人との関わりに関すること ・スマートフォンを利用した高度な情報化社会に生きていることを自覚し遵法正精神、公德心に関する道徳的価値を深め、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	<演習>第6章 スマートフォン時代のコミュニケーション ①新しいメディア時代の生き方について学ぶ、②スマートフォン時代を生きることについて議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 インターネットやスマートフォンの利用状況、その活用のメリットや課題などの情報を読み取り、整理・分析し、理解している。学んだことを生かして話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 遵法精神、公德心について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 オ 環境保全を図る活動 ・校外での活動で生徒相互の交流を深め、親睦を図る ・集団行動をすることで生活の規律を学ぶ	<体験活動>お台場海浜公園 環境美化活動 ・お台場海浜公園の清掃活動 ・事前学習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 お台場海浜公園周辺などの情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 体験活動における課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動し、チームで力を発揮する能力を育成する。	<演習>第8章 チームを動かす力 ①チームで活動することについて考える、②チームで活動する意義について考え、議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 リーダーシップの発揮の仕方等について、情報を整理し、理解している。解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 社会参画、公共の精神について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 エ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ・学級で協力してオリジナルな作品を作り上げ、文化的な催しを追求する。	<体験活動>文化祭(準備含む) ・学級単位の文化的催し ・事前準備 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 文化的催しに関する情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 文化的催しにおける課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4	

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：

使用教科書：（無し）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
<p>B 単元 SDGs探求講座における探求学習</p> <p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・業者委託による、グループ学習を実施する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	20
合計						
合計						35

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：

使用教科書：（無し）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
<p>B 単元 SDGs探求講座における探求学習</p> <p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向けて取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・業者委託による、グループ学習を実施する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向けて取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	20
合計						35

高等学校 令和8年度（4学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第4学年 A組

教科担当者：

使用教科書：（無し）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ・必要な情報を収集し、分類して蓄積できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
<p>B 単元 SDGs探求講座における探求学習</p> <p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向けて取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>・一人1台端末の活用 ・業者委託による、グループ学習を実施する。 ・生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。 ・図書館やパソコン教室も利用する。</p>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向けて取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	20
合計						35